



企業版ふるさと納税

大学がある“まち”の新たな挑戦にご協力ください

大学隣接地に位置する「はじまりの地」。今は何も無いけど、ここから始まる100年先の未来を創るプロジェクト

海、山、田園に囲まれ、風光明媚な景色が日常に溶け込んでいる「福岡県糸島市」。

JR博多駅、福岡空港などとの交通利便性が高く近年観光客・移住者が増加しています。

本市の特長の一つに「九州大学」があります。九州大学と本市は包括連携協定を締結し、相互の資源を活かした研究や地域と学生の交流など、年間100件程度の連携を進めています。

そのような中、九州大学の周辺に、科学の村「糸島サイエンス・ヴィレッジ」を組成するプロジェクトが動きだしました。大学研究者・学生・企業・地域住民が「集い・つながり・創り出す」ような、本市独自のエリアを皆様と一緒に創り上げていきます。



立石山から望む糸島の風景



日本最大級の広さを誇るキャンパス



大学南側に立地したホテル・寮



産学金官一体で取り組む観光実証事業



九大生が小学校で授業を行う寺子屋事業

【企業版ふるさと納税とは】

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附すると、税制上の優遇措置が受けられる制度です。

実質企業負担が寄附額の約1割まで軽減されます。

イメージ 寄付額

通常の寄附		企業版ふるさと納税を活用した寄附	
損金算入	約 3 割	税額控除	約 6 割
		企業負担	約 1 割



どんな事業なのか What is SVI

福岡県糸島市は、現在多くの学生が生活していますが、大学卒業後は関東圏で就職するなど、多くの優秀な人材が流出しており、糸島への定着率は高くありません。

また、九州大学の基礎研究を実用化・事業化するイノベーションが次々に生まれる学術研究都市として更なる推進が求められています。

そのような課題を解決するため、さまざまな分野の企業・研究者や学生などが集まり、イノベーションや新産業が生まれ、地域と学生・教職員、企業などが活発に交流する具体的な学術研究都市を創っていく構想の検討を開始しました。

その結果、糸島がもつ自然環境や九州大学の特長がミックスした、独自の学術研究都市を「糸島サイエンス・ヴィレッジ (Science village in ITOSHIMA)」と名付け、構想の実現化に向けて取り組むこととなりました。

また、当構想を実現化するための中核組織として、産学金官によって一般社団法人SVI推進協議会を設立しました。この法人は、さまざまな知見や技術を持つ研究者や民間事業者が新たなビジネスを生むために話し合う場の創出や、個別のマッチングなどを行い糸島市の学術研究都市を発展させていきます。



何を行うのか What we do in SVI

単に土地開発を進めていくのではなく、世界の潮流に乗りながら、企業・研究者の「実証・研究シーズ」を幅広く展開し、社会実装までの道のりを伴走しながら、独自の「科学の村」を創生していきます。

直流給電技術実証



メタバース空間実証



農業実証



建屋の改修



5G実証実験



地域住民の意識醸成



まちのグランドデザイン作成



and more...

企業へのメリット Benefits for Company

- 糸島市や地域、企業がつながり、地域資源を活かした新たな事業の展開が期待できます。
- 地域の支援、SDGsの達成に向けて取り組む社会貢献企業としてPR効果が期待できます。
- 寄附により税負担が軽減され、寄附額の1割が実質負担となります。

企業の皆様のご支援をお願いいたします。詳細は糸島市HPまたは、以下問合せ先までご連絡ください。

○企業版ふるさと納税の手続きに関して

糸島市 経営戦略部 企画秘書課 092-332-2061 kikakuhisho@city.itoshima.lg.jp

○糸島サイエンス・ヴィレッジに関して

糸島市 経済振興部 学研都市づくり課 092-332-2079 gakkentoshi@city.itoshima.lg.jp

